

# Do はぐ研修 実施報告



講師紹介  
帯広市危機対策課  
西澤氏

今年度、3回目の防災研修「Do はぐ研修」を行いました。  
相談支援部門のスタッフ初め、利用されている相談者6名の方にも参加いただき、  
相談支援部門としての危機意識を高める経験になりました。



次々と発生する  
避難所の課題

これから始まる研修にドキドキの参加者



避難所のスタッフとして  
どう対応しよう…

## 次々と問題が襲い掛かります

発熱者が来ました

ペットも一緒に避難  
させてください

子供が夜泣きをするので  
心配です

近所の人の方も  
食料をください

トイレが汚くて  
困っています

何かお手伝いさせてください

避難所は嫌なので  
車で過ごします

部屋をどのように使う？

寒さ対策は？

プライバシーの確保は？

ろうあ者への周知  
への配慮は？

発熱者の対応は？

食料と水はどう配分  
しようか

今回行った Do はぐ研修「避難所運営ゲーム北海道版」は、真冬に直下型地震が発生し電気が使えないという想定で始まります。250枚のカードで示された様々な条件をグループで話し合い、地域の防災対策の課題を我が事としてとらえていく内容でした。2018年に起きたブラックアウト以降、十勝は比較的平穏な気象状況もあり、災害を身近な物として考えるにくくなっているのが現状です。

私達の事務所は災害時援助者（避難行動要支援者）のための指定避難所になっています。研修を通し、災害発生時の避難生活や避難所運営について理解を深めるとも良い機会となりました。そしてゲームを通して、みんなが協力・共同することと個を尊重することの大切さを感じ、日頃の業務に向かう姿勢を振り返る機会にもなりました。